

令和5年度千葉県体力・運動能力調査結果の考察

1 実施期間

- ・本調査は、全児童・生徒を対象に、小学校は令和5年5～11月に実施。
中学校は4～7月に実施。
- ・いずれも新体力テストの実施要項に従い、学校ごとに実施。

2 結果概要

(1) 全体的な傾向

- 全体では県平均を上回った項目の割合が64.5%であった。(前年比8.4%減)全小中の男女別18学年×8項目=144項目中、93項目(前年比12項目減)
- 上体起こし(筋力・筋持久力)、反復横跳び(敏捷性)において県平均を上回る割合が高い傾向にある。

(2) 校種別の傾向

【小学校】(学年別数値については別紙参照)

- 3年生男子、2年生女子で8項目中全てが県平均を上回った。
- 5年生男子で8項目中6項目が県平均を下回っている。
- 6年生男子で8項目全ての項目で県平均を下回っている。
- 男女で比較すると、女子が県平均を上回る傾向が強くなった。

【中学校】

- 1年生女子で8項目中7項目が県平均を上回った。1年生男子、2年女子が8項目中6項目県平均を上回っている。
- 3年生男女で8項目中5項目が、県平均を下回っている。

【全体を通して】()内の値は、昨年度比)

- 小・中学校男女別で県平均を上回った項目の割合は、小学校男子が50.0%(-18.8%)小学校女子が81.3%(+4.2%)となった。男子は減少率が著しく増し、女子は増加傾向となった。男女格差が目立つ結果となった。中学校では、男子が58.3%(前年度同様)中学校女子が66.7%(-20.8%)となった。小中学校ともに、昨年度より県平均を下回る傾向にある。
- 小学校では、反復横跳び(敏捷性)、ソフトボール投げ(巧緻性、瞬発力)において、県平均を上回る割合が高い傾向にある。
- 中学校では、上体起こし(筋力・筋持久力)、反復横跳び(敏捷性)において、県平均を上回る割合が高い傾向にある。
- 小学校では、長座体前屈(柔軟性)、20mシャトルラン(全身持久力)、中学校では、ハンドボール投げ(巧緻性、瞬発力)において、課題が見られる。